

様 式

会議の名称	令和5年度第3回本庄市下水道事業審議会
開催日時	令和5年12月22日（金） 午前 10時00分から 午前 11時30分まで
開催場所	都島浄水場
出席者	審議会：柿沼光男委員、榎田平一郎委員、茂木孝弘委員、井上明彦委員、 奥原定雄委員、根岸誠委員、大澤春樹委員、立石茂則委員、渋谷京子委員、 早川ゆり委員 事務局：佐藤上下水道部長、金井課長、櫻井課長補佐、宮城課長補佐、根 岸主査、齋藤主任、小浦方主任、石井主事
欠席者	小高隆雄委員、濱野宏委員
議題 (次第)	1. 開 会 2. あいさつ 3. 令和5年度第2回審議会議事報告 4. 報告事項 整備状況について 5. 議 題 第1号 公共下水道事業における使用料金等の適正化について ①流域下水道維持管理負担金及び下水道使用料近隣市町の状況につ いて ②新料金表について 6. その他 7. 閉 会
配付資料	令和5年度第3回本庄市下水道事業審議会次第 資料1 下水道事業審議会席次表 資料2 下水道の計画、老朽化及び雨水管渠の整備状況について 資料3 流域下水道維持管理負担金内訳及び近隣の下水道使用料状況に ついて 資料4 使用料改定案 資料5 本庄市下水道事業審議会開催日程（案）
その他特記事項	下水道審議会規則第2条により審議の結果、非公開と決定しました。
主管課	上下水道部下水道課

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
	【１．開会】 【２．あいさつ】
柿沼会長	おはようございます。今日は寒いなかお集りいただきありがとうございます。前回の１１月の審議会では吉田市長にも出席していただき、下水道の使用料金について諮問をいただきました。その後、下水道課から本庄市の現状と課題を説明してもらい、皆様に審議をしていただきました。今日はより具体的な内容について、下水道課より丁寧に説明をしてもらい、審議していただきます。市民の生活に直結する審議ですので、時間をいくら使っても結構です。それぐらい大事なことです。ある程度、見直しの案が出てくると思いますので、それについて皆さんから忌憚のないご意見をいただきまして、慎重に会議を進めて参りたいと思います。よろしくお願いします。
	【３．令和５年度第２回審議会議事報告】
事務局	(令和５年度第２回審議会の要旨を報告) (配布資料の確認)
	【４．報告事項】 整備状況について
柿沼会長	改めまして、委員の皆さまには、お忙しいところご出席をいただきまして、ありがとうございます。これより条例に基づき、議長の職を務めさせていただきます。よろしくお願いします。それでは、事務局より、本日の出席状況の報告をお願いします。
事務局	それでは事務局より、委員の出席状況についてご報告いたします。 本庄市下水道事業審議会条例第６条第３項で「審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とされております。 本日、ご出席いただいております委員の皆様は１２名中、１０名でございますので、会議を開催するに必要な過半数に足りており、本日の会議は、成立していますことをご報告いたします。
柿沼会長	ご苦労さまです。事務局の報告の通り、本日の会議は成立しています。この会議については、前回の会議において、内容が決定するまで非公開とする

様 式

	こととなったため、ご理解をお願いします。それでは事務局より、報告事項の説明をお願いします。
事務局	(整備状況について説明)
柿沼会長	ご苦労様です。私事ですが、ちょうど下水道事業が始まったところに、市の検査室というところがあって、そこで下水道管の中を直接見たことがあり、大変な思いをした思い出があります。事務局の説明のとおり、特にあれから問題があるようなこともなく、本庄市の下水道事業は順調に捗っているかと思っています。ただいま、整備状況説明について説明がありましたが、皆様から質疑等があったらお願いいたします。
委員	1つ教えてください。最初の資料2-1にある、計画人口5万770人、これはいつ策定したのですか？それと、将来の人口減少についての考え方を教えてください。
事務局	令和2年の全体計画見直しの際に、令和7年度の概成で整備ができる範囲として計画区域を縮小しています。その結果、計画人口を現在のものになっています。 (人口減少への考え方は議題審議後、後段のその他事項の際に回答)
柿沼会長	ほかに質疑があればお願いいたします。
委員	雨水の関係で基準となる降雨について今は50mmのところをこれからは100mmにするとか、そのあたりのシミュレーションやハザードマップはできるのでしょうか？また、市民への配布はされるのかも含めて説明をお願いします。
事務局	予算の都合もあるのであくまで予定ですが、これから浸水シミュレーションを実施し、浸水リスクの見直しをします。その際に、現在の下水道事業の計画では1時間当たり57mmで計画していますが、そのほかに想定しうる最大規模の降雨、1000年に一度といわれるような規模のシミュレーションをし、ハザードマップに落とし込みしなさいというのがいまの国の流れになっています。何mmに設定するかは地区ごとで異なり、これから実施する業務委託のなかで検討しますので、この場ではまだお答えしにくいです。想定最大規模降雨の浸水シミュレーションの地図を作成し、そのデータを危機管理課へ提供し、ハザードマップに反映する予定になっています。その後、全戸配布も予定されています。ただし、ハザードマップのための浸水シミュレーションは、実際の管の整備においてはオーバースペックになりますので、現実的なラインを見出しての整備となると考えています
委員	雨水の件で質問します。私は北泉地区に住んでいて、雨水は川に流水しますが、いま北泉地区には男堀川が流れています。そのすぐ北には、女堀川も流れています。その整備状況は、女堀川は河川の下まできれいに整備されていますが、男堀川は年に数回土手の草刈りはしていますが、川のなかには木が生えており、本当なら切ってほしいがそのままになっています。もし大雨が

	降ると水がせき止められ、浸水すること考えられます。一級河川ですので管轄は国になるかとは思いますが、管轄を超えて、そのあたりを踏まえた対策をしてもらえれば、浸水ハザードマップも生きてくるのではないかと思います。今後、そのあたりを検討してもらえればと思います。
柿沼会長	事務局、説明をお願いします。
事務局	第1回会議の際にも委員に同様の意見をいただきましたので、男堀川を管理している本庄県土整備事務所に審議会にて意見があったことを伝えてあります。
柿沼会長	他にはどうですか？特にないようですので、以上で質疑を終了します。
	【5. 議題】 第1号 公共下水道事業における使用料金等の適正化について ①流域下水道維持管理負担金及び下水道使用料近隣市町の状況について
柿沼会長	それでは本題に入っていきます。事務局より説明をお願いします。
事務局	(流域下水道維持管理負担金について説明)
柿沼会長	複雑な説明でしたが、わかりやすく説明をありがとうございました。ここまでで質疑はありますか？よろしいですか？ご理解をいただいたと思いますので、事務局に説明の続きをお願いします。
事務局	(下水道使用料近隣市町の状況について説明)
柿沼会長	いろいろ料金の設定の説明がありましたが、ご質疑ありますか？
委員	初歩の質問で申し訳ないですが、上水道は各戸にメーターがあるので使用量がわかると思いますが、下水道ではどう使用量を把握しているのか見当がつかないので、教えてください。
事務局	下水道においても水道の検針を使用していますので、水道の使用量がイコール下水道の汚水排除量だと思っていただければと思います。
柿沼会長	よろしいでしょうか？他にはいかがですか
委員	いまの説明ですと、植木への水まきなど、水道を使った量すべてを下水道に流すわけではないと思いますが、そのあたりどう考えているのですか。
事務局	下水道に流していないのに下水道使用料がかかってしまうというご質問だと思いますが、水を下水道使用料が減免されるほど大量に撒く方には、ご自分でメーターをつけていただき、それを基に検針と申告をしてもらえれば、下水道使用料を適切にする対応をしています。ただし、量にもよるので、お客様にはよく考えてくださいと話しています。
柿沼会長	下水道の量については、どう捉えているのかは皆さんも疑問ではあったかと思います。他市でも同じようなやり方なのか、説明をお願いします。
事務局	他市も同様に行っています。下水道に排水しない水量が大きいということ

様 式

	であれば、申告をしてもらえれば、控除をさせていただいております。
柿沼会長	ありがとうございました。本庄市にもそういったご家庭があるということですね。他はいかがですか？ないようですので、次の説明をお願いします。
事務局	(新料金体系の案について説明)
柿沼会長	料金改定の具体的な説明をしていただきました。大変細かいですので、まとめるとどういったことなのかを説明をお願いいたします。
事務局	前回は一律で約15%を改定しました。先ほど見ていただいたように、大口使用者の料金は、県内でベスト3に入っています。このままでは市内の企業がなくなってしまう恐れもありますので、そのあたりも考慮しながら、なるべく皆様の負担を抑えていきたいと考え、事務局としてはパターン①で、皆様へ等しく基本料金を上げさせていただきたいと考えています。今後は人口減少も考えられる時代ですので、企業は場合によっては海外へ行くこともあるかと思います。住んでいる方からご協力いただけるような、基本料金でなるべく上げ幅が少ないパターンでいかがか、皆様に考えていただければと思っています。
柿沼会長	ここまでの説明の中で、わかりにくいところがあれば質疑をお願いします。ご意見もあると思いますが、まずは説明のわかりにくかった点についてをお願いします。
委員	資料の表の下に不足分と収入の比較が赤色で記載されています。今回は県が維持管理負担金を上げたいということが発端になっていると思いますが、この赤色の部分の説明をお願いします。
事務局	赤色の部分については、不足分は県の負担金の上昇分を確保するために示させてもらった数値です。それに対し収入の増加が若干、プラスになるように設定しています。プラスの分は、人口減少の影響を考慮したり、市で行っている維持管理費も上昇したりする可能性がありますので、そうした部分に充てさせていただきたいと考えています。不足額に対してマイナスになる料金設定は出来ませんので、最低限のプラスで設定をさせていただいています。
柿沼会長	他に質疑ございませんか。
委員	先ほど本庄市も人口減少になるであろうと説明がありましたが、例えば5年、10年の間でどれだけ本庄市で人口減少が起きるのか、わかれば教えてください。
事務局	政府の国立社会保障・人口問題研究所による予測では、本庄市はあと20、30年ほど経つと、6万人を切るような想定がされています。これからは人口減少にも対応していかなければならない状況にあります。
柿沼会長	他にはどうですか。よろしいですか。本日、ある程度の方向性を出すことを考えておりますので、委員の皆様からお考えと料金改定は①～③のどのパターンが良いかお話しいただき、採決を取りたいと思います。意見がなければ

	ばないで結構です。
	(以降は採決のため、発言者を区別するため発言者欄に番号を付記。本記録のための番号であり、委員会名簿との対応しない)
委員 1	質問なのですが、基本料金 10 m ³ 以下の世帯は何%ぐらいいますか？それから、水道は1か月の基本料金はいくらでしたか
事務局	水道は一番小さい口径 13mmで 10 m ³ までが税別 680円です。また、下水道の 10 m ³ 以下の世帯は全体の約 35%です。
委員 1	私の考えといたしましては、全体的に見ますと、使用量の少ない家庭は料金が上がりますが、パターン①でよいかと思っています。
委員 2	私は下水道公社の人間ですので、流域下水道の維持管理負担金について、なぜこんなことになっているのか簡単に説明します。基本的には、電気料金や燃料費が非常に高騰したことが原因です。たとえば、令和3年4月は電力の自由化により 1kwあたり 11.84円で契約していました。ところが、ウクライナの関係などで令和4年10月には 1kwあたり 41.66円と非常に高騰してしまいました。電力の自由化で請け負っていた業者からは供給できないと言われ、東京電力に切り替えて買っている経緯があります。下水道公社で請け負っている電気料全体は概算ですが 40億円から 80億円近くなってしまっています。こういったところが、本庄市にもお願いする負担金の増に大きく寄与しております。皆さんにはこうして議論していただき大変申し訳なく思っておりますけれども、様々なものの金額が上昇してしまっているなかで、負担金の増をお願いしているところです。みなさんにご迷惑をおかけしますが、そういった事情を考慮して審議していただければと思います。私どもも色々な形でコスト削減に取り組んでいますが、こうしたお願いをする状況になっています。それと下水道使用料については、私も事務局から説明のあった案が良いと考えています。
委員 3	事務局がいろいろ検討してくれたことが説明からわかりました。そのため、事務局から説明のあった案に賛成です。1点、先ほど県でもコスト削減を考えていると委員から説明がありましたが、処理場の管理については、指定管理制度のように民間に任せているのでしょうか？
委員 2	処理場の管理については、管理全体を包括的民間委託、5年契約で一般競争入札をして、管理してもらう業者を選んでいきます。当然、競争をしてもらい、少しでも安いところに請け負っていただくという形です。
委員 4	電気料金の値上げなどもありで、下水道使用料の値上げも仕方ないと考えます。案としては①に賛成します。
委員 5	私も値上げ自体は仕方ないと考えます。市民にできるだけ負担がないようにしてもらいたいです。私もパターン①に賛成します。

様 式

委員 6	私もパターン①に賛成します。色んなものが値上がりしていますので、多少の負担は仕方がないと思います。買い物に行くと色んなものが値上がりしていますので、大変なことはわかります。
委員 7	私もパターン①が良いと思います。というのも、本庄市は人口減少も当然起きますが、近隣の市を見ますと人口が増えているところも他県ではあります。そういったところを見ると、大規模な企業を誘致して、それによって商業施設ができて人が集まるというパターンが隣の群馬県などでは起きています。結局人口減はやむを得ないとしても、やはり人口が集まるような市の政策を考えていただいて、それに伴って考えると、やはりパターン①が大口の企業が来やすいのではないかな、と私は考えます。
委員 8	私もパターン①が良いと考えます。いまは、利根工業団地の近くに工場を誘致をということで、旭地区の自治会で現在市長に申し入れをしているところです。国道 17 号ができるとその近くばかり発展してしまいますので、この地域が置き去りにならないためにも、新しい工業団地ができるように、パターン①を希望します。
委員 9	五十子のほうの汚泥を昔は肥料などにできていたようですが、伺ったところによるといまは量が足りていないように聞いていますので、県にはそうしたことも今後は考えてもらいたいと思います。 市の皆さんにはこれからの 40 年、50 年後の老朽化をしっかりと管理し、長寿命化を促進していただければと思います。 料金的なことでは、やはり合併処理浄化槽とのバランスも考えていただければありがたいと思います。企業誘致については、群馬県では 7 つも 8 つも行い、何 ha もある企業誘致がいまも動いています。そうしたことも想定しながら、下水道や水道も動いてもらいたいです。料金改定パターンは、もちろん①に賛成します。
事務局	委員から工業団地の誘致についてご質問がありましたが、今、市では総合振興計画の中で発展創出ゾーンというものを考えており、工場業などを誘致していかないと、人口減少のなかで他の自治体と差がついてくるだろうと考えています。企業を誘致するにしてもどこがよいのか、場所を産業開発室で考えています。できれば水をたくさん使うような企業を誘致できれば、みなさんの負担も減りますので、そうした事業者を誘致したいとは思っていますので、ご理解をお願いします。
柿沼会長	非常につらい判断ですが、下水道料金の引き上げはやむを得ないというのが委員の皆さんの意見でした。また、改定の案はパターン①に全会一致で決定とさせていただきたいのですが、よろしいですか？
委員	(異議なし)
柿沼会長	皆さんにはこれからも下水道について、忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

	【6 その他】
事務局	(今後のスケジュールについて説明) (会議終了後、本日の配布資料は回収すると説明)
委員	(質問なし)
事務局	(議題4. 報告事項の質疑において、未回答だった内容を補足) 委員より人口減少に対する下水道の取り組みについて質問がございましたが、農業集落排水を古い順に公共下水道へ繋いでいく取り組みを行っています。
	【7. 閉会】
梶田会長職務代理人	皆様、慎重審議をいただきありがとうございました。 以上をもちまして「令和5年度 第3回 本庄市下水道事業審議会」を閉会といたします。
	以上

本庄市下水道事業審議会

会 長 柿沼 光男